

2014年度

環境活動レポート

(対象期間：2014年6月1日～2015年5月31日)



発行日 2015年7月1日
発行責任者 山田 浩之

地球と人にやさしい土木＝エンジニアリングを求めて



株式会社明豊建設

1 組織の概要

事業者名及び代表者名

株式会社明豊建設
代表取締役社長 本庄 浩二
代表取締役専務 山田 浩之

所在地

本社 〒526 - 0804 滋賀県長浜市加納町394
アスコン部 〒522- 0004 滋賀県彦根市鳥居本町2880

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）

環境管理責任者 企画営業部長 白石 昌之
連絡先： 0749-62-3211

EA21担当責任者 総務部 平谷 まなみ
連絡先： 0749-62-6580

事業活動の内容（認証・登録範囲）

土木工事、舗装工事
アスファルト合材製造・販売

事業の規模(H24年度)

資本金 9,500 万円
売上高 29.62 億円／年
工事件数 134 件／年
全従業員 50 名

事業組織

面積：m ²	本社	アスコン部	コケ工場
事務所床面積	934.9	244.28	232.5
倉庫床面積	362.4		
駐車場面積	3,183.6		
資機材置場面積	1,598.0		
従業員 名	40	8	2
認証・登録	○	○	

過去3年間の環境負荷の実績

	単位	2012年	2013年	2014年
二酸化炭素の排出量	kg-CO2	694,998	740,292	777,255
廃棄物の排出量	t	3,521.7	6,400.7	6,984.7
水の使用量、排水量	m ³	1,713	1,795	1,490
化学物質の使用量	kg	8.1	9.8	33.3

2 対象事業所

・(株)明豊建設

本社 滋賀県長浜市加納町394

建設現場

アスコン工場 滋賀県彦根市鳥居本町2880

・明豊物産(株)

滋賀県長浜市加納町394

株式会社明豊建設 環境方針

環境理念

(株)明豊建設は、人と自然との共生を図るため『環境の保全に努め、地球に優しい企業活動を行う』ことを基本理念とする。

行動指針

以下の環境方針に基づき、全従業員が環境へ配慮した事業活動を行う。

1. 当社(株)明豊建設は、建設工事業務から生じる環境への影響を的確にとらえ、技術的、経済的に可能な範囲で、継続的な環境保全活動を行う。
2. 当社環境マネジメントシステムは、環境目標の達成、是正活動、内部監査、経営層による見直し等によって、環境保全活動の継続的改善を約束する。
3. 環境に関連する法規制等を特定し遵守するとともに、汚染の予防に努めることを約束する。
4. 環境方針の達成のために、自社が可能な範囲で環境目的・目標を掲げ、プログラムを策定し、環境保全活動を推進する。
5. 環境マネジメントシステムは、内外の様々な変化に対応して、環境目的・目標を見直す手順を含む。
6. 環境保全活動では、全社的活動を中心に、次の活動について重点的に取り組む。
 - (1) 資源を大切に使う。
 - (2) 廃棄物を削減する。
 - (3) 水を節約する。
 - (4) 有害な化学物質を適正に管理する。
 - (5) 建設事業の環境への取組を効果的に推進するため、地域社会と環境コミュニケーションを図る。
 - (6) グリーン購入の推進をする。
 - (7) 自らが施工、販売・提供する製品及びサービスの開発を推進する。
7. この環境方針は、文書化し、全従業員に周知すると共に、一般の人にも公開する。

2012年6月1日

株式会社 明豊建設

代表取締役社長

本 左 浩 二 

4-6 環境目標とその実績

2011年度までの実績を自己チェック等により把握し、その結果を基準値として、2011年度から2015年度までの目標を下記の通り設定し、2011年6月より環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2014年6月から2015年5月までの運用実績について取りまとめました。

方針	取組項目	年度	2011年基準	2014年		次年度	中長期
		単位	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
資源を大切にす。	電力消費量の削減 (kwh)	%		3	9%	4	4
		消費量	761546	738700	693928	731084	731084
		(kg-CO ₂)	398288.6	386339.9	329615.8	382357.0	382357.0
	ガソリン消費量の削減 (単位:L)	%		3	-12%	4	4
		消費量	46061.48	44680	51445.96	44219	44219
		(kg-CO ₂)	106939.1	103730.9	119440.0	102661.5	102661.5
	軽油消費量の削減 (単位:L)	%		3	12%	4	4
		燃費	91499.7	88754.7	80932.4	87839.7	87839.7
		(kg-CO ₂)	236638.3	229539.2	209308.9	227172.8	227172.8
	灯油消費量の削減 (単位:L)	%		3	35%	4	4
		消費量	5025.2	4874.4	3280.5	4824.2	4824.2
		(kg-CO ₂)	12522.4	12146.7	8174.8	12021.5	12021.5
	重油消費量の削減 (単位:L)	%		3	17%	4	4
		消費量	644.0	624.7	532.0	618.2	618.2
		(kg-CO ₂)	1604.8		1441.5	1540.6	1540.6
LPG消費量の削減 (単位:L)	%		3	12%	4	4	
	消費量	105.4	102.2	93.1	101.2	101.2	
	(kg-CO ₂)	262.6	254.7	279.5	252.1	252.1	
二酸化炭素排出量の削減	%		4	11%	5	6	
	(kg-CO ₂)	754388.4	731756.7	668260.6	724212.8	724212.8	
廃棄物を削減する。	分別及びリサイクルの推進 (単位:t)	%		3	38%	4	4
	建設現場	(t/年)	11284.4	10945.8	6984.7	10833.0	10833.0
水を節約する。	事業所利用水の節水 (単位:m ³)	%		3	9%	4	4
		(m ³ /年)	1641	1591.8	1490.0	1575.4	1575.4
有害な化学物質を適正に管理する。	化学物質の適正管理	%		3	#DIV/0!	4	4
		(kg/年)	0	0.0	33.3	0.0	0.0
建設事業の環境への取組を効果的に推進するため、地域社会と環境コミュニケーションを図る。	地域の美化活動に参加する。	件数	10	12	12.0	12	12
		(以上/年)	0	12	12.0	12	12

目標の説明や補足事項

- 1 購入電力の排出係数は、0.523 kg-CO₂/kwhとする
- 2 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対しての総排出量で管理する
- 3 水使用量については、事務所における水使用量の削減について実施する
- 4 グリーン購入は、事務用品について現状把握していく
- 5 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組む
- 6 エコ商品として壁面緑化用のスナゴケ商品を販売できるようにする

5 環境活動計画

方針	取組項目	活動計画の内容	責任部門・担当者
資源を大切にする。	電力消費量の削減 (kwh)	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理(夏季28℃±1℃)	総務部
	ガソリン消費量の削減 (単位:L)	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ② 暖機運転・アイドリングストップ ③ 環境に配慮した稼働	総務部
	軽油消費量の削減 (単位:L) 建設現場		
	灯油消費量の削減 (単位:L) 建設現場	① ストープの温度管理(冬季20℃±1℃)	工務部 アスコン部
	重油消費量の削減 (単位:L) アスコン部	① 仕事量により変化があるため適正に管理する。	アスコン部
	LPG消費量の削減 (単位:L)	① 湯沸し等炊事の節約	総務部
廃棄物を削減する。	分別及びリサイクルの推進 (単位:t) 建設現場	廃棄物 ① 建設廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。(廃品回収への協力や回収業者に持ち込む。) ② 建設混合廃棄物を削減する ③ 無駄な資機材を購入しない。	総務部 工務部
水を節約する。	事業所利用水の節水 (単位:m ³)	① 洗車の水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はしない。	総務部
有害な化学物質を適正に管理する。	化学物質の適正管理	① 使用する有害化学物質を把握し、適正に管理する。	工務部 アスコン部
建設事業の環境への取組を効果的に推進するため、地域社会と環境コミュニケーションを図る。	地域の美化活動に参加する。	① 美知メセナ活動に参加する。	総務部

取組の紹介

現場においては、工事の内容により資源の使用量、廃棄物量が違ってきますが、環境に配慮した作業方法により、環境活動に取り組んでおります。

- ・ グリーン購入においては、エコマーク品の購入品目の選定・購入量の把握を行い、次年度より、備品購入のうちのグリーン購入の割合を決定する。
- ・ エコ商品のスナゴケを販売するための計画をたてる。

7 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

方針	取組項目	年度	2014年		取組の評価	担当責任者
			(目標)	(実績)		
資源を大切にする。	電力消費量の削減 (kwh)	%	3	9%	こまめな節電を心がけた結果である。引き続き継続できるように。	総務部
		消費量	738700	693928		
		(kg-CO ₂)	386339.9	329615.8		
	ガソリン消費量の削減 (単位:L)	%	3	-12%	ガソリン消費量以外については目標値を大きく上回る実績を達成でき良好である。ガソリン消費量については、目標値の12%増の結果となり残念ではあるが、工事内容および施工場所、社用車の保有台数等、基準年と単純に比較できない面もある故、次年度については売上等も考慮した上で、実績評価できるように基準となる計算式を導入した上で、適正に評価できるように期待する。	総務部
		消費量	44680	51445.96		
		(kg-CO ₂)	103730.9	119440.0		
	軽油消費量の削減 (単位:L) 建設現場	%	3	12%		
		燃費	88755	80932.4		
	灯油消費量の削減 (単位:L) 建設現場	%	3	35%		
		燃費	4874.4343	3280.5		
重油消費量の削減 (単位:L) アスコン部	%	3	17%			
	燃費	624.68	532.0			
LPG消費量の削減 (単位:L)	%	3	12%			
	燃費	102.2283	93.1			
二酸化炭素排出量の削減	%	4	11%			
	(kg-CO ₂)	731756.7	668260.6			
廃棄物を削減する。	分別及びリサイクルの推進 (単位:t) 建設現場	% (%/年)	3 10945.8	38% 6984.7	工事内容にもよるが大幅な削減実績で非常に良好。次年度以降も継続を期待する。	総務部 工事部
水を節約する。	事業所利用水の節水 (単位:m ³)	% (m ³ /年)	3 1591.8	9% 1490.0	前年未達成と比較しても大幅な削減がで良好。	総務部
有害な化学物質を適正に管理する。	化学物質の適正管理	% (kg/年)	3 0	#DIV/0! 33.3	適正管理ができたと考える。継続して適正管理を期待する。	工事部 アスコン部
建設事業の環境への取組を効果的に推進するため、地域社会と環境コミュニケーションを図る。	地域の美化活動に参加する。	件数	12	12	今後も継続実施を期待する。	総務部
		(件/年)	12	12		

次年度の主な取組内容

全社従業員への周知徹底をし、各担当責任者より取り組み内容等再度見直しを行う。

- グリーン購入の購入目標値を設定し、積極的に購入する。
- エコ商品(スナゴケ)として販売し、実績をつくる。

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	適正処理
建設リサイクル法	建設副産物の管理、排出	適正処理
騒音規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	適正処理

注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。

9 代表者による全体の評価と見直し結果

前年度は4項目に対して目標未達があったが、今年度は1項目のみの未達であることを考えると、大変満足した結果と考えます。ガソリン消費量については、目標未達の理由を精査した上で次年度の目標達成に向けた取り組みを期待したい。

なお、基準値の見直しについては、現在、継続取組み中との報告を受けているが、早急な対応に期待する。より適正な実績評価ができるようになる事を期待する。